



さよなら サンタ列車

今年限りで運行を終える津軽鉄道「さよならサンタ列車」の出発式が十二月一日に行われ、招待された第三、第四保育所の園児四十四人が「赤いハンチャのサンタクロス」とひと足早いクリスマスを楽しみました。

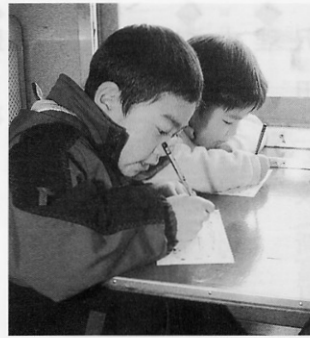
五所川原駅で行われた出発式では、角田助役の「サンタさんの乗り物は何？」との質問に、園児たちが「サンタ列車！」と答え、出席者の笑顔を誘う一幕も。角田助役と三和満津軽鉄道社長のあいさつに続き、園児たちがサンタさんへメッセージと花束を贈り、代表者のテープカットで列車の出発を祝いました。
真っ赤なサンタ列車に乗り

赤いハンチャの サンタが金木に やっつてきた

込んだ園児たちは金木駅へ向けて出発。車内では「お願いカード」に「ラジコンをください」「お化粧セットがほしい」など、それぞれ願い事を書いてポストに投かんしたり、元氣よくクリスマスソングを歌ったり、また、サンタさんからお菓子のプレゼントを手渡されて大喜びしていました。



▶ワイワイ！ サンタさんだ



▶「プレゼントは○○○がほしい…」



▶サンタさん、プレゼントありがとう

かなぎサンタフェスティバル実行委員会が主催する「サンタ列車」と「かなぎサンタフェスティバル」がそれぞれ開催され、大勢の子どもたちが楽しいクリスマスをお過ごししました。
十三回目を迎える「サンタ列車」は、二十世紀とともに幕を閉じることになりましたが、今年もたくさんの子どもたちの夢を乗せて走りました。また、毎年恒例となった「サンタフェスティバル」には赤いハンチャのサンタクロスからのプレゼントを楽しんでいた子どもたち約三百人が詰め掛けました。

サンタ フェスティバル

子どもたちの待ちに待った「かなぎサンタフェスティバル」が十二月十日、中央公民



▲何が当たるかな？ お楽しみ「サンタクじ」



▲元気な声で「ジングルベル」



▲かわいいサンタさんも登場してお手伝い

館で開催され、五百人余りの親子連れがクリスマスを楽しみました。
大きなクリスマスツリーやたくさんのリースできれいに飾り付けされた会場内では、サンタクじや着ぐるみ劇、赤いハンチャのサンタさんとプチサンタさん(?)からのお菓子のプレゼントなどが行われ、子どもたちは大喜び。バンドの演奏に合わせて、みんなで「あわてんぼうのサンタクロス」や「ジングルベル」を歌い、ちよっと早めのクリスマスを満喫していました。

ま ち の で き ご と

園児たちが勤労感謝



勤労感謝の日を前に、金木幼稚園（園長＝片岡八千雄）の園児たちが11月22日、警察署や消防署、役場を訪れて感謝の心を伝えました。

役場を訪れた3歳児25人は、職員らに「いつもお仕事ご苦労様です」と声をそろえて激励のあいさつをし、園児を代表して白川れんまくんと今さやかちゃんが花束とプレゼントを手渡しました。

減反協力者へ奨励券交付

今年度の米の生産調整（減反）目標を達成した農家に対し、11月24日から町内各地区で「生産調整協力奨励券」（商品券）が交付されました。

農家自ら減反に協力してもらうとともに商店街の活性化につなげようと今年度から配布され、平成15年まで継続される予定となっています。

商品券は減反面積10アール当たり2,000円支給され、今年度は減反に協力した農家664人に総額9,064,000円の商品券が支給されました。なお、この奨励券の有効期限は平成13年3月31日までですので、配布された方は期限までに利用してください。



反射材で事故防止を

金木町交通安全母の会（会長＝福山初枝）の会員らが11月27日、高齢者の独り世帯を訪問して交通安全を呼び掛けました。

会員たちは独り暮らしの方たち一人ひとりに反射材付きの手提げバックや傘用マスコット、高輝度反射材を手渡し「反射材を活用して夜道では車に気をつけてください」と声を掛け、夜間の交通事故防止に努めていました。



船橋市民に「金木」をPR

西北五観光物産協議会（金木町を含む西北五15市町村で構成）が12月2、3の両日、千葉県船橋市で「津軽観光首都圏フェア」を開催し、3万人を越える来場者でにぎわいました。

会場の駅前広場では各市町村のブースがずらりと並び、観光誘客をしたり、自慢の物産品を販売。金木町のブースは、出店した観光物産館「マディニー」による“金木の味”の販売と津軽三味線会館など観光のPRを行いました。商品の中では、特にひばのチップや太宰の清酒、文字入りりんごが来場者の注目を集め、飛ぶように売られていました。



太宰をしのぶ³² 太宰とその文学の魅力(12)

金木町太宰会々長

木下 巽

作家魂

ミレニアム「この千年の文学者」読者人気度においてベストセブン。『人間失格』がロングセラーベストワンを続けている太宰治。今回は、その作家魂に迫ってみた。

まず、太宰作品『「燈籠」』に、冒頭から芸術家の特性と使命をつぎのように語っている。

「昔から、芸術の一等品というものは、つねに世の人に希望を与え、怯えて生きて行く力を貸してくれるものに、きまっていた。私たちの、すべての努力は、その一等品を創る事のみ向けられていた筈だ。至難の事業である。けれども、何とかして、そこに、到達したい。右住も左住も出来ない窮極の場所に坐って、私たちは、その事に努めていた筈である。それを続けて行くより他は無い。持物は、神から貰った鳥籠一つだけである。つねにそれだけである。」
つねに世の人に希望を与え、苦しさを、つらいことに堪え、生きる勇気を与える一等品を創ること

のみにつとめたという。ここに太宰治の、純粹な作家魂を垣間見ることが出来る。

人間らしい感情

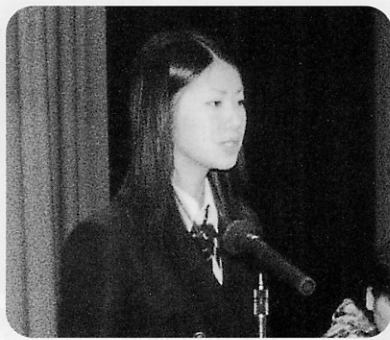
作品『貨幣』に、「この世の中にひとりでも不幸な人のいる限り、自分も幸福になれないと思う事こそ、本当の人間らしい感情でしょうに、自分だけ、或いは自分の家だけの束の間の安楽を得るために、隣人を罵り、あざむき、押し倒し、(いいえ、あなただっつて、いちどはそれをなさいました。無意識でなさつて、ご自身それに気がつかないなんてのは、さらに恐るべき事です。恥じて下さい。人間ならば恥じて下さい。恥じるといふのは人間だけにある感情ですから。) まるでもう地獄の亡者がつかみ合いの喧嘩をしているような滑稽で悲惨な図ばかり見せつけられてまいりました。」

太宰治は右の言葉を、一枚の百円貨幣に託して言っている。人の心の愚かさを嘆き、壁の向こうにうめき声が聞こえる間、自分の幸福はあり得ないという。ここでは、

人間らしい感情のあり方を問うている。

弱者の友

「芸術家とは、もともと弱い者の味方だった筈なんだ。弱者の友なんだ。芸術家にとつて、これが出発で、また最高の目的なん



▶ 作文朗読する
金木高校 内海 咲子さん

だ。】(畜犬談)そして【弱いおどおどした人を、みんなでやさしくいたわらなければならぬと存じます。】(「燈籠」とも言っている。

この弱者に対する作者のいたわり(折り・再生)と、優しさに読

者は感動する。太宰文学は弱いのではなく、弱い人間、病んでいる人間、貧しい人間、哀れな人間、苦しみ悩みながらも心優しく、美しい人間を描いている小説世界と心すべきである。そして心の糧として、心の支えとなり、人々に希望と、怯えて生きる力を与えるところに太宰文学の魅力がある。

作家魂にふれる

金木高等学校三年内海咲子さん(南中卒)の『人間失格』を読んだ。「恥の多い生涯を送って来ました。こんな書き出しで始まっている、この作品にとても興味を持ちました。…そこから私は太宰作品の世界に一気に引き込まれてしまいました。葉蔵という名の太宰のことは、いちいち心を動かされ、理解したり、できなかつたり。…何度心が揺れ動かされたかわかりません。絶望ばかりの話の中で、本当のたまに小さな光が見えるような話の内容に一番心を引かれました。良かったね、これで幸せになれるねと思つたら、また一気にどん底に突き落とされてしまう。

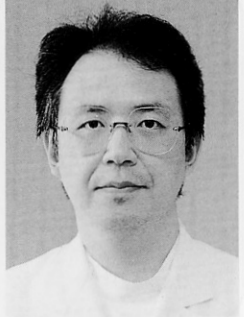
…太宰はこの小説を通じて、読んでいる私に人生とはそんなに甘いものではないと、教えているのでしょうか。確かにこの小説を読ん

で、共感できたところや教えられたところもありました。どうすればいいか本当にわからなくなり逃げたくならない時も私も一緒にです。『人間失格』を読んだ人の中には救われた人、教えられた人、心のかてになった人など、さまざまいると思います。なぜなら、この話にそのような要素が含まれていると感じる事ができるからです。『人間失格』は太宰の魂の作品みたいなものです。この三年間、私は太宰の作品を読み続け、太宰の魂に触れる事ができました。この作品達は私の人生にとっても役立つ、永遠に心に残す事ができるでしょう。」

内海咲子さんは、太宰文集『新樹』に三回連続入選。そして高校の三年間太宰作品を読み続け、「太宰の魂にふれることができた」という。「小さな光が見える」は、これから歩む道への光(希望)だろう。また、「この作品達は私の人生にとっても役立つ」は、心の糧として、また怯えて生きていく力を学んだことになる。そして太宰治の作家魂にふれ、「永遠に心に残すことができる」と結んでいる。このように、太宰作品をより深く読める児童・生徒が、町内各校に数多く、新樹のように育っていることを喜ぶたい。

「やけど」のはなし

外科 小堀 宏 康



冬も本番となり寒さの厳しい季節となりました。それに伴い、暖房器具やポットのお湯など「やけど」を起す原因が増えます。この季節になると金木病院にも「やけど」の患者さんが増えます。ということ、今回は「やけど」の話します。

「やけど」とは熱、化学物質、電気等で生じた組織への損傷です。最も一般的な原因としては炎や沸騰した液体、熱いものが皮膚へ接触することです。

◎「やけど」の応急処置

「やけど」をしたとき、どうすればよいかを知っておくことはとても大切です。そこで、「やけど」をした時の応急処置についてお話しします。「やけど」をした場合はとにかくすぐに流水などで冷やすことが大切です。「やけど」の部分を冷やすと「やけど」の深さが進行するのを止めることが

できる、と考えられています。冷やす温度は10〜15℃位が良いとされ、時間は大体10〜20分程度です。

「やけど」の痛みがとれるくらいが目安となります。その上で清潔なガーゼやタオルで患部を被い、病院を受診してください。中には「冷やせばよい」というので水で冷やす人がいますが、氷は温度が低すぎて良くありません。また衣類に火がついたり、衣類の上から熱湯がかかった場合は無理に脱がせたりせず、衣類の上から流水で冷やしてください。無理に衣類を脱がせようとすると、水ぶくれが破れたり皮膚が剥がれたりすることがあります。もし、水ぶくれができた場合は、水ぶくれをつぶさないようにします。無理につぶすと、その傷から細菌が入って化膿し、治りを悪くしてしまいます。また、特に注意していただきたいのは「やけど」にアロエや馬油、

調味料のお味噌、醤油等をつけるといった昔の方法(民間療法)を絶対しない、という事です。これらの方法は傷の悪化の原因になったり、その後の病院での治療の妨げになるからです。何よりも流水ですぐに冷やす事が「やけど」の最善の応急処置なのです。

◎「やけど」の重症度

「やけど」の重症度は「やけど」の深さと広さによって分けられます。深さは、第一度、第二度、第三度と分類されます。一番浅い第一度は赤くなっただけで痛みが、痛い、熱いといった症状があります。水ぶくれはできません。第二度は水ぶくれができることが多く、激痛がしばらく続きます。触ると痛みを感じ、触ったときに白っぽくなります。第三度はもっとも深く、表面は白く柔らかくなるか、あるいは黒く焦げて革のように硬くなります。痛みの神経も損傷するので痛みは感じま

せん。しばらくすると深い潰瘍をつくり、皮膚移植が必要になります。

「やけど」広さに関しては九の法則というものがあります(図参照)。原則的に広いほど重症です。広範囲な「やけど」では体液が血管からもれてショックとなり、命にかかわることがあります(第三度ではすべての「やけど」、第二度では10%以上の範囲の場合ショックに陥る可能性があります)。この場合は、入院の上、早急に点滴等の治療が必要になります。子供や老人の場合はこれより狭い範囲でも重症化することがあり、注意が必要です。また、手足や四肢の関節部の「やけど」は後にひきつれ(拘縮)などを起こす場合があるので、必ず病院を受診してください。

◎「低温やけど」について

さほど熱くないものでも長時間触れていることで「やけど」を起こすことがあります。これを「低温やけど」といいます。これは携帯用(使い捨て)カイロや湯たんぽ、暖房便座などが原因となります。「低温やけど」の特徴は、皮膚が少し赤くなった程度でも皮膚の深くまで「やけど」が

進行している場合がある事です。皮膚に潰瘍などをつくるなど、なかなか治らないので「低温やけど」には十分注意しましょう。

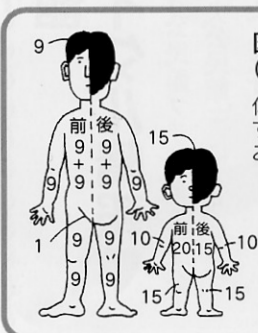
以上、「やけど」についてお話ししましたが、一番大切なのは「やけど」をしないという事です。暖房の方法や、熱湯の入ったポットの置き場所など日常生活のちょっとした注意により「やけど」を防ぐことができます。次に大事な事は「やけど」になった場合、安易な民間療法は感染の機会を増やすのでやってはならないという事です。

「まず冷やし、できるだけ早く病院へ行く。」この原則を守ることが大切です。

図：9の法則 (子供は5の法則)

体の表面積に對する各部分の面積の割合です。

手のひら片手1%



戸籍の窓

十一月届出分

おめでとう

伊丸岡いづみ(忠昭) 喜良市
川口詩温(涉) 蒔田
藤井遥香(智) 嘉瀬
山口大夢(哲也) 金木

おしあわせに

八木澤 淳(良藏) 市浦村
木田梨架子(昭二) 喜良市
対馬啓人(邦美) 五所川原市
西村恵久子(進) 喜良市
前多 昌顕(一幸) 金木
菊地 綾子(行雄) 木造町
秋元 克文(文治) 蒔田
秋元 憲子(憲二) 嘉瀬
高杉裕馬(長栄) 五所川原市
原田和佳菜(寛) 嘉瀬
古川 道弘(勇) 喜良市
赤川真理子(秋雄) 深浦町
齋藤友樹(満里子) 鱒ヶ沢町
川山亜紀子(松子) 金木

おくやみ

平川 カシ(69才) 嘉瀬
木田 たり(88才) 喜良市
津島 憲雄(90才) 金木
古川 キエ(92才) 喜良市
須崎 春雄(67才) 嘉瀬
齋藤 イヨ(94才) 川倉

この欄は金木町に住
所を有している方々を
掲載しています。
掲載を希望しない方
は町民課窓口へ届出の
際申し出てください。

はじめまして



川口 詩温ちゃん
11月13日生

明るく笑顔の似合う女の子に育ってほしいです(母 房子より)

伝言板

◎届いています
●十一月二十七日
茶封筒等の入った
クリアケース
(緑色のフアスナー)
金木郵便局前
心当たりの方は、金
木警察署落し物係まで。
◎係から
このコーナーを利用
したい方は役場企画観
光課まで。

人口と世帯

	11月末現在	前年同月比
男	5,728人	△ 89人
女	6,302人	△ 51人
計	12,030人	△ 140人
世帯数	4,064	9



かなぎ公民館

ブライダル情報

このたび、めでたく「かなぎ公民館ブライダル」(企
画・進行)事務局「金木町中央公民館」によりカッ
ルとなられた方々をご紹介します。

HAPPY Wedding



2000. 11. 18
新郎 松江 俊寿さん(金木)
新婦 齋藤 才子さん(鶴田町)

★ご結婚をご予定されている方は、お気軽に金木町中央公民館
(☎五三三三八二)にご相談ください。
すべて事務局が手配いたします。
また、お二人のお名前と結婚記念日を刺しゅうした豪華桐箱
入アルバムの記念品等々たくさんの特典があります。